

製品名: TXNRD1 (6I18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19460**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,IF-P 1:50-1:100
分子量	71kDa

抗原情報

遺伝子名	TXNRD1
別名	GRIM12; KDRF; KM 102 derived reductase like factor; xidoreductase; Thioredoxin reductase 1; TR1; TRXR1; TXNR; TXNRD1
遺伝子 ID	7296.0
SwissProt ID	Q16881
免疫原	ヒト TXNRD1 の合成ペプチド

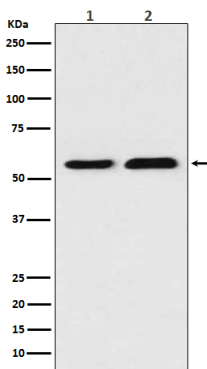
背景

アイソフォーム 1 はグルタレドキシシン活性およびチオレドキシシン還元酵素活性を有し、アクチンおよびチューブリンの重合を誘導し、細胞膜突起の形成につながります。アイソフォーム 4 はエストロゲン受容体 α および β の転写活性を高め、アイソフォーム 5 は β 受容体の転写活性のみを高めます。アイソフォーム 5 はまた、インターフェロン β とレチノイン酸の組み合わせによって誘導される細胞死を媒介します。アイソフォーム 1 はグルタレドキシシン活性およびチオレドキシシン還元酵素活性を有し、アクチンおよびチューブリンの重合を誘導し、細胞膜突起の形成につながります。アイソフォーム 4 はエストロゲン受容体 α および β の転写活性を高め、アイソフォーム 5 は β 受容体の転写活性のみを高めます。アイソフォーム 5 はまた、インターフェロン β とレチノイン酸の組み合わせによって誘導される細胞死を媒介します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における TXNRD1 発現のウエスタンブロット解析。